目標 11 住み続けられる町づくりを

分別回収にご協力ください

持続可能な開発目標の取り組み(ＳＤＧｓ)

株式会社 明和クリーン
Tel:0883-86-3053
fax1:0883-86-3052

【基本理念】

株式会社 明和クリーンは、廃棄物処理業を通じて、地域住民の生活文化の向上に寄与するとともに、循環型社会形成の一翼を担い、地球に優しい環境保全と環境に配慮した事業活動を継続的に取り組むことで、環境経営の持続的改善を推進します。
ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）を自らの課題として促え、事業活動を通じて「住み続けられる町づくり」に貢献します。

【排出事業者さんへ分別排出の推進】

株式会社 明和クリーンでは、排出事業者さんへ分別排出をお願いしています。
取り組み活動を行うことで、廃棄物から資源化へのリサイクルの推進をしています。
その結果、地球温暖化のCO_2削減や最終処分場の延命化に繋がると考えて取り組みを推進しています。

設置イメージ



２㎥フレコンの分別排出を検討してみませんか！
問い合わせは上記 株式会社 明和クリーンにお願いします。

2m³フレコン分別内容

1	混合廃棄物	（残さ、掃きゴミ、塗料缶など）
2	木くず	（釘つき可能、油付着不可）
3	紙くず	（紙くず、セメント袋など）
4	ダンボール	（濡れダンボール及び油付着不可）
5	金属くず	（木くず、廃プラなどの異物混入禁止）
6	廃プラスチック	（シート類、キャップ、PPバンドなど）
7	石膏ボード	（廃石膏ボードなど、水濡れ不可）
8	ガラスくず・陶磁器くず等	（ガラスくず、コンクリートくずなど）
9	コンクリートがら	（無筋のもの、約３０ｃｍ以下）

2m³フレコン分別カード

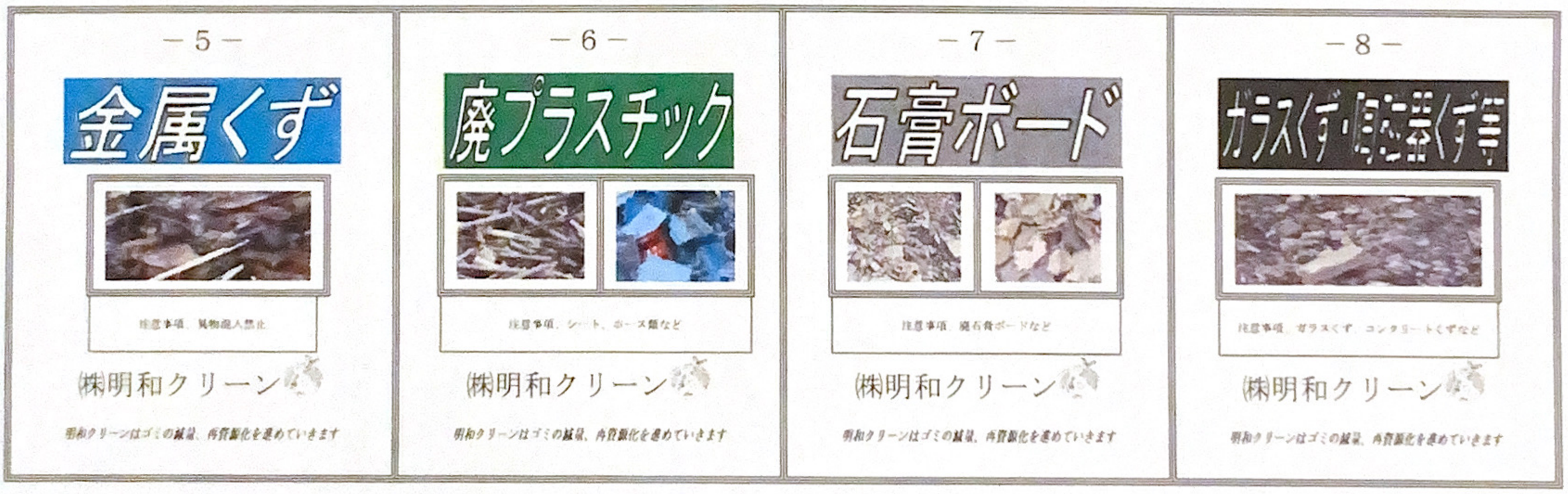
（１）　（２）　（３）　（４）

混合廃棄物　木くず　紙くず　ダンボール



（５）　（６）　（７）　（８）

金属くず　廃プラスチック　石膏ボード　ガラスくず・陶磁器くず等



※必要なカード番号（上記）に○を付けてください。

明和クリーンはゴミの分別（上記８通り）により、ゴミの減量、再資源化を進めます。

混合廃棄物





※注意事項※

・掃きゴミ、おがくず、残さ、塗料缶（固まっているもの）など

・石膏ボード付着不可

株明和クリーン

LOVE THE EARTH

TEL（0883）86−3053　FAX　（0883）86−3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

木くず



※注意事項※

- 釘つきは可能
- 油、ペンキ等の付着不可

㈱明和クリーン

TEL （0883）86－3053 FAX （0883）3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

紙くず



※注意事項※

- 紙くず、ロール芯、厚紙の空箱、剥離紙、セメント袋など
- 木くず、廃プラスチック類などを混ぜない

㈱明和クリーン

TEL（0883）86−3053　FAX　（0883）86−3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

ダンボール



※注意事項※

・折りたたんで入れる
・濡れダンボール不可
・ペンキ、油等付着不可

㈱明和クリーン

TEL（0883）86−3053　FAX　（0883）86−3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

金属くず



※注意事項※

- 缶は中身を空にして、つぶして入れる
- 廃プラスチック類、木くず、紙くずなどの異物混入禁止

株明和クリーン

TEL（0883）86－3053　FAX　（0883）86－3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

廃プラスチック類





※注意事項※

- シート類、キャップ、ホース類、ビニール袋、PPバンドなど
- 木くず、紙くず等の異物を混ぜない
- 複合品は必ず分離させること

(株)明和クリーン

TEL (0883) 86-3053 FAX (0883) 86-3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

石膏ボード





※注意事項※

- タッカー、のり付き廃石膏ボードを入れる
- クロス、岩面吸音板付きは不可
- 水濡れ不可

(株)明和クリーン

TEL （0883）86-3053 FAX （0883）3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

ガラスくず・陶磁器くず等



※注意事項※

- ガラスくず、コンクリートくずなど
- コンクリート無筋のもの、約３０センチ以下
- 木くず・廃プラスチック等の異物を混ぜない
- 残土混入付加

㈱明和クリーン

TEL （0883）86−3053 FAX （0883）86−3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

可燃物



※注意事項※

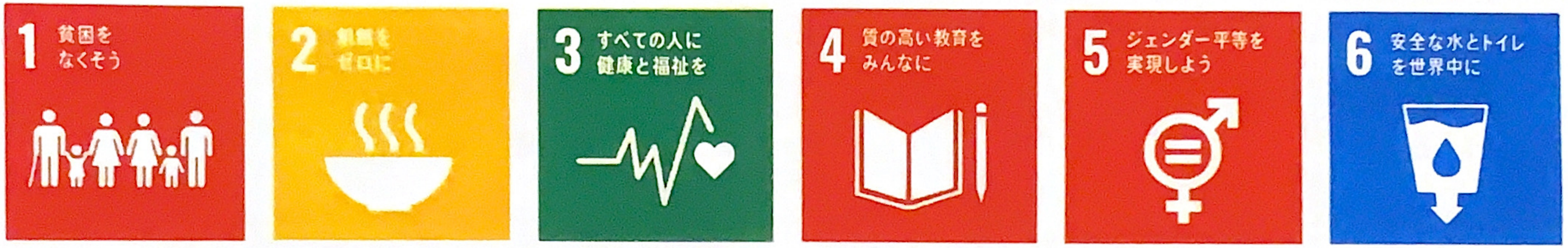
- 濡れたダンボール、紙くず、養生テープ、木＋発泡スチロール、木＋スタイロフォームなど
- 複合品で容易に分離できないもの、分離可能なら分別
- 石膏ボード付着不可

(株)明和クリーン

TEL（0883）86−3053　FAX　（0883）86−3052

明和クリーンはゴミの減量、再資源化を進めていきます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS









11 住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちづくりはなぜ大切か

2030年までに、50億人が都市で暮らすことになると予測されています。

目標の内容は何ですか。

都市を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にすることです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

世界人口の半数にあたる 35 億人は現在、都市で暮らしていますが、この数は増加を続ける見込みです。大半の人々の未来は都市部にあるため、貧困、気候変動、医療、教育など、人類が直面するいくつかの最大の課題への解決策は、都市で見つけねばなりません。

現在、都市が直面する喫緊の課題には、どのようなものがありますか。

不平等は大きな懸念となっています。スラムの住民は 8 億 3,300 万人を数えますが、その数は増え続けています。都市のエネルギー消費と汚染も懸念すべき問題です。地球上の陸地面積のわずか 3%に相当する都市が、エネルギー消費量の 60～80%、炭素排出量の 75%を占めているからです。人口密度と立地条件により、気候変動や自然災害の影響を受けやすい都市も多いため、人的、

社会的、経済的な損失を回避するためには、都市のレジリエンス構築が欠かせません。

私は都市に住んでいますが、こうした問題の影響はまったく受けていません。なぜ関心を寄せるべきなのですか。

これらの問題はいずれも、やがてはあらゆる市民に影響することになります。不平等は社会不安や治安の悪化をもたらし、汚染はあらゆる人の健康を損ない、労働者の生産性を通じて経済に影響を与え、自然災害はあらゆる人のライフスタイルを破壊しかねないからです。

都市の自然成長を放置したら、どうなりますか。

ずさんな都市化計画の代償は世界のあらゆるところで、巨大化するスラム、交通の混乱、温室効果ガスの排出、郊外の無秩序な拡大という形で姿を現しています。スラムはGDPと平均寿命を低下させます。私たちは持続可能な行動を選択することにより、すべての市民が人間らしい生活を送り、都市の生産力の一要素として、環境を損なうことなく、豊かさや社会的安定を共有できるような都市の構築を選択することになるのです。

持続可能な実践の導入には、多額の費用がかかるのですか。

得られる恩恵に比べれば、費用はごくわずかです。例えば、機能的な公共交通網の整備にはコストがかかりますが、経済活動や生活の質、環境、そしてネットワーク化された都市の全体的な成果という点で、計り知れない恩恵が得られます。

この目標を達成するため、私には何ができるのですか。

- あなたの街のガバナンスと管理に積極的な関心を持ってください。
- あなたのコミュニティーで何がうまく行き、何がうまく行かないのかを把握してください。
- あなたが必要と考える都市の姿を積極的に発信してください。
- あなたが住む建物、通り、地域に関するビジョンを持ち、そのビジョンに基づき行動してください。十分な雇用はありますか。身近なところに医療はありますか。あなたの子どもは安全に通学できていますか。夜間、家族と一緒に街を歩くことはできますか。最寄りの公共交通機関まで、どれだけの距離がありますか。大気の環境はどうですか。共有のパブリック・スペースはどうですか。あなたのコミュニティーでよりよい条件を整備できれば、生活の質にもそれだけ大きな影響を及ぼすことができます。

目標 11 をはじめ、持続可能な開発目標についてさらに詳しくは、こちらをご覧ください。
http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

改訂版・日本語訳：国連広報センター
（2019 年 3 月）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD